

わったー町の国際交流!

International Exchange of WATTA Town

観光やビジネスで海外から多くの人々が訪れ、ますます国際化が進む沖縄県。グローバルな人材育成や国際協力を目的とした各市町村の取り組みをご紹介します。



いにしへの交流を今につなぎ
新たな時代の縁をつなぐ

琉球王国時代には海外貿易の表玄関として栄え、今日に至るまで沖縄の政治・経済・文化の中心地として歩んできた県都、那覇市。海外との交流も盛んで、中国の福州市と友好都市を、ブラジルのサンピセンテ市とアメリカのホノルル市とは姉妹都市を結び、それぞれ独自の交流を行っています。

なかでも那覇市と福州市は琉球王国時代から貿易の拠点都市として栄えた歴史を持ち、古き縁を未来につなごうと1981年から文化や、スポーツ、経済など、さまざまな分野において交流を深めてきました。今年、その友好都市締結から35周年の記念すべき年にあたり、7月には福州市の訪問団が那覇市を訪れました。市長との面談や祝賀会、伝統工芸士による中国工芸の実演などのほかに、福州園(*)ではさるすべりを植樹。未来に向けて新たな友好の花が庭園を彩り、多くの市民を楽しませてくれそうです。

中国伝統の技を
沖縄で披露!



那覇市の国際交流活動

次世代を育む国際交流

35年に及ぶ友好都市の歴史のなかで那覇市と福州市は1995年から児童生徒の派遣と受け入れを交互に行う「那覇・福州児童生徒交流祭」をスタート。これは子どもたちが国際感覚を身に付け、世界で活躍して欲しいという思いから始まった事業で、ホームステイや学校訪問などを通してお互いの文化への理解を深め、友情を育んでいます。



1 訪問団として訪れた伝統工芸士による中国伝統のコルク細工の実演会 2 福州園で行われた植樹式 3 福州市を訪問した那覇市の生徒の皆さんがエイサーを披露

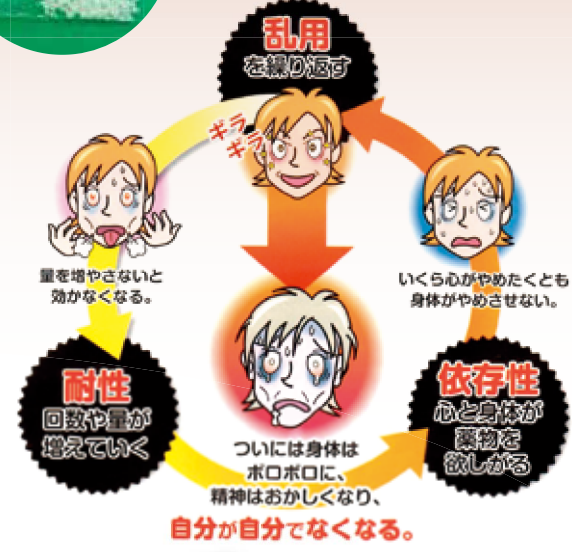
(*) 那覇市制70周年と福州市との友好都市10周年を記念して造られた中国式庭園(1992年9月開園)。

まん延する違法薬物! 絶対に使用してはいけません!!

違法薬物の種類と危険性

- 覚醒剤**
特に依存性が高く、乱用すると、幻覚や妄想が現われ、時には錯乱状態になる。大量に摂取すると、急性中毒により、全身痙攣を起こし、意識を失い、最後には脳出血で死亡することもある。
- 指定薬物(危険ドラッグ)**
興奮、抑制または幻覚的作用があり、意識障害、おう吐、けいれん、呼吸困難等を起こして死亡したり、重症に陥ることもある。平成28年7月2日現在、2,345物質が指定。法律により製造、輸入、販売などが禁止されている。

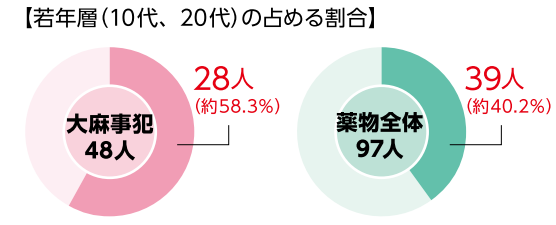
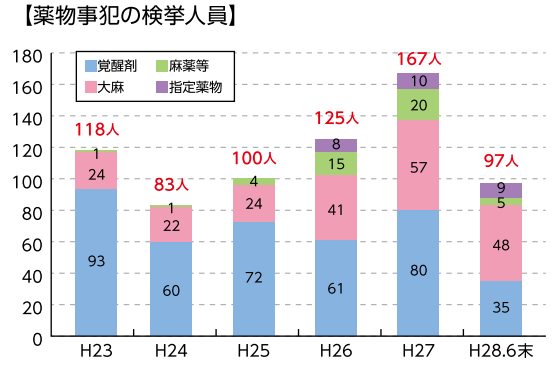
- 大麻**
乱用すると、時間の観念が混乱するなど思考が分裂し、感情が不安定になったり、なにもやる気のない状態に陥る場合もある。
- MDMA・MDA**
使用を続けると錯乱状態に陥ることもあり、腎・肝臓機能障害などの症状が現われることもある。
- 向精神薬**
医師の指示によらずに乱用すると感情が不安定になったり、歩行に異常が生じたりするなど、心身への障害が生じる。



違法薬物の現状

県内の検挙状況
全体の検挙数をみると増加傾向にあり、今年6月末現在も昨年を上回るペースで増加しています。

若年層による薬物乱用の増加
全国と同様に県内でも大麻事犯の検挙人員が増加傾向にあります。今年も昨年を上回るペースで増加傾向にあります。大麻事犯では、10代、20代以下のいわゆる若年層の乱用が目立っています。



最後に
違法薬物は「毒」です。違法薬物の「毒」が、人体に対してどのような症状をもたらすか、誰も責任を持ちません。最悪の場合、一回の使用で死に至る場合もあります。絶対に使用してはいけない物であることを認識しましょう。

お問い合わせ 県警察本部 暴力団対策課 電話: 098-862-0110 (代表)

